



トヨタ 18 クラウン  
18 マジェスタ

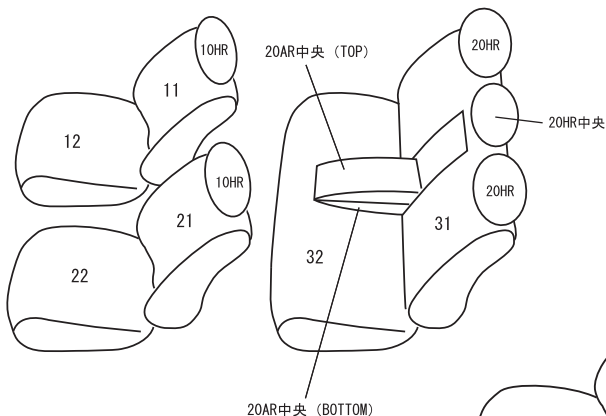
## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

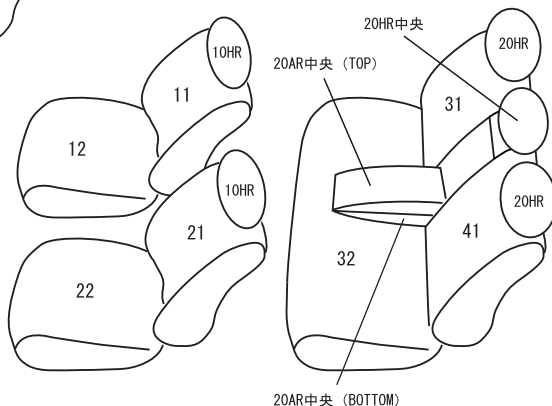
0187/0190/0191

# 本製品シート形状とパーツの名称



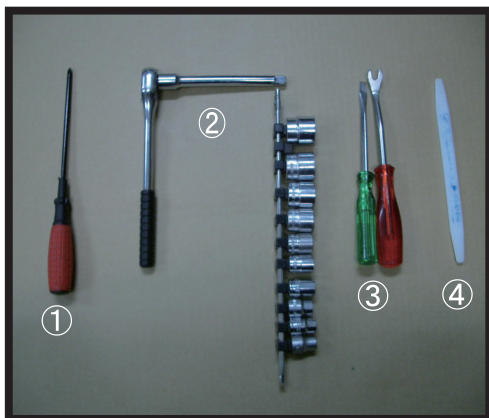
2列目背もたれ  
一体型シート車

2列目背もたれ  
4 : 2 : 4分割パワーシート車



※1列目コンソール用のカバーは、用意しておりません。  
(コンソール自体の表皮が革の為)

## 取付必要工具



### 工具名

- ①+ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

\*この車種では、①と②の工具  
を使用します。

\*この車種では、③の工具は使  
用しません。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



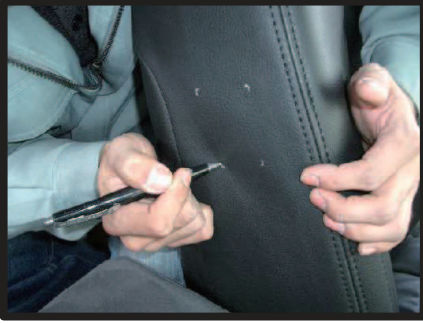
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

# 助手席パワーシート車

※車種によっては、パワーシートのスイッチ部には加工が必要です



①カバーをきちんと取り付けました状態にします。パワーシートのスイッチ部を手で触りながら角部分から内側に7mmの位置に目印を付けます。



④最初に×印に切り込みを入れ、次に×印の端同士を結ぶように生地を切り落とし、四角形の穴にします。



②次に、目印を対角線で結ぶように×印を描きます。



⑤シート本体とスイッチのプラスチックとの隙間に、切り抜いたカバーを入れ込みます。



③シート本体やスイッチを傷つけないように、カバーをつまみながらハサミ等を使用して切り込みを入れます。



⑥助手席パワーシートのスイッチ部はこのようになります。



# 1 列目座面



①最初に、背もたれの裏側にある、ゴム付きのパーツを取り外しておきます。



④座面と背もたれの隙間に、固定用プラスチックパーツの付いた部分を入れ込みます。



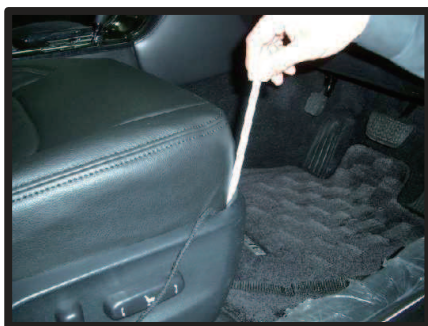
②①で外したパーツに図のように、足を照らすライトが付いている場合は、ライトの裏側にある、カバー（配線）を外して下さい。



⑤カバー側面はシート本体のプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



③座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



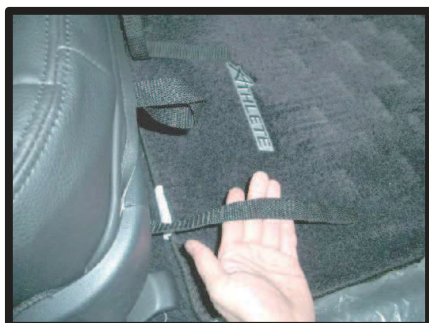
⑥角にあたる部分は、入れ込み難くなっていますので、プラスチックのヘラ等キズのつき難いもので押し込むと、作業が簡単に行えます。



⑦外側面のヒモは、プラスチックカバーの隙間に、シートに沿わずように入れ込みます。余ったヒモは、座面と背もたれの間に入れ込んでおきます。



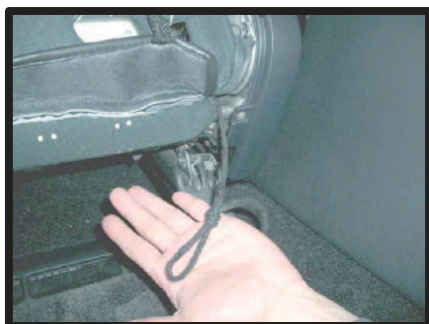
⑩作った輪に、もう片側のヒモを通し引き絞り固定します。  
※強く引っ張り過ぎると切れる恐れがあります。



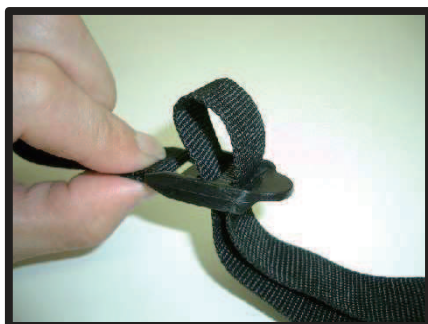
⑧前面にあるベルトは、プラスチックカバーの隙間に入れ込み、下から引き出して置き、座面下部を通してシートの背面から取り出します。



⑪1ページ④で入れ込んでおいた生地  
のプラスチックパーツと、⑧で座面  
下部を通しておいたベルトを固定  
します。



⑨⑦で背面に出しておいたヒモの、片側で輪を作ります。



⑫ベルトの固定方法は、最初にベルトを図のように真中の穴に通してから右端の穴に通し、ベルトを引っ張り固定します。※強く引っ張り過ぎると切れる恐れがあります。

## 1 列目座面続き



⑬ベルトで固定する時は、座面裏側にある配線をかわずように、ベルトを通します。



⑭表面のラインとカバーを馴染ませるように整え、運転席座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

## 1 列目背もたれ

※画像はアスリートタイプのものですが、他のグレードも同様に取付けます。



①背もたれカバーを取り付ける前に、背もたれ背面下部にあるカバーを取り外します。

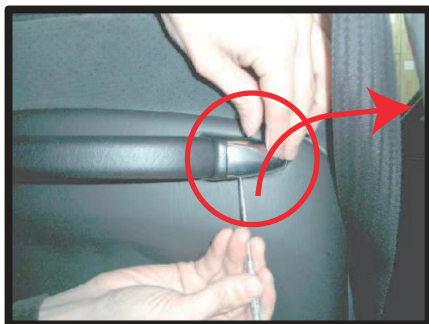


②左右にフックがついていますので、両方を外して生地をめくり上げておきます。  
赤○の位置にネジがあります。

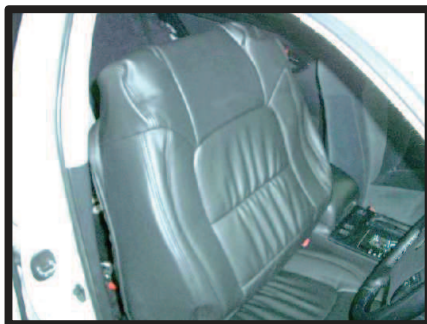


③②の赤○を付けた位置にあるネジを、+ドライバーで取り外します。





④取っ手を取り外します。  
先の細いもので、内側から外側にこじるようにプラスチックのカバーを取り外します。



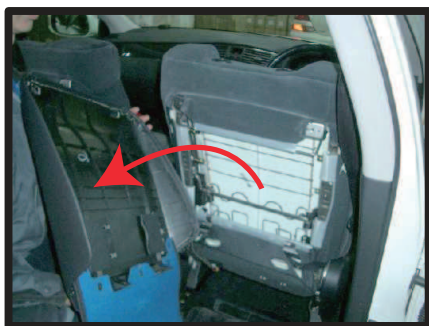
⑦ヘッドレストを外し、背もたれカバーをかぶせていきます。



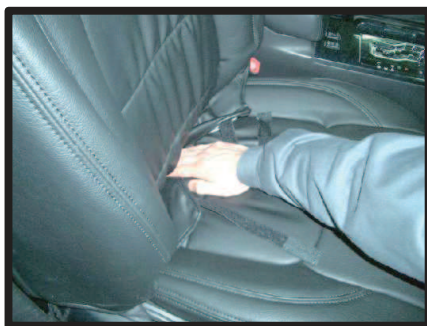
⑤カバーを外した所に、ネジがありますので、+ドライバーで取り外します。



⑧肩口をしっかりと合わせ、シートのラインに合わせて下までかぶせます。



⑥取っ手を取り外したら、バックポケットの付いている部分を取り外します。



⑨背もたれと座面の隙間に、マジックテープの付いた部分を入れ込み、背もたれ背面から引き出します。

# 1 列目背もたれ続き



⑩ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。



⑬運転席側の背もたれは、左右に細いパイプが通っていますので、パイプを利用して下さい。



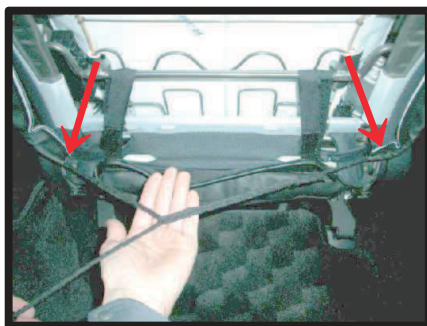
⑪側面のしわを中央に寄せるようにしてシートとカバーを馴染ませます。



⑭助手席側は、パイプがありませんので、左右に伸びている鋼線を2本くらいまたぐようにして固定して下さい。



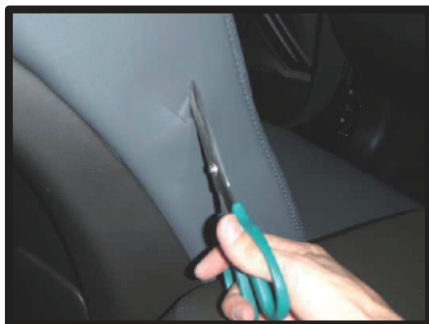
⑫4ページ⑨で引き出しておいたマジックテープを背面の、金属部に巻き付け固定します。



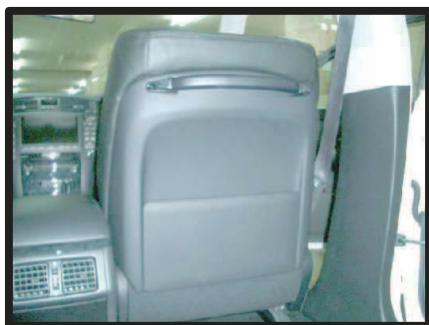
⑮ヒモは矢印部分の角の下を通し、座面と同様に、輪を作り引き絞って固定します。



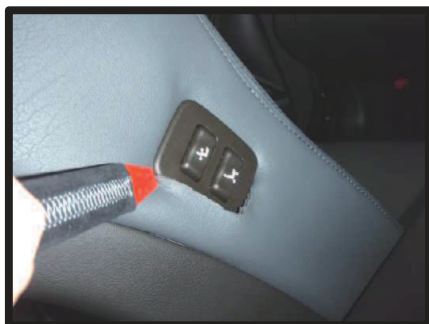
⑩取っ手の取り付け部分のネジ穴に生地が掛からないように、よけておきます。



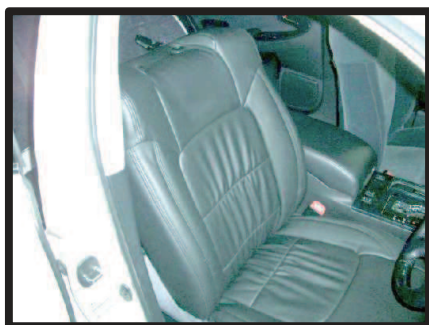
⑪助手席背もたれ側面のパワーシート用スイッチ部分を取り出します。背もたれが問題なく取り付けが完了した状態で、スイッチ外枠の約1センチ内側を四角く切り抜きます。  
※はさみやカッターなどを使用される際に、シート本体を傷付けないようご注意ください。



⑫取り外した背面カバーを元に戻して下さい。



⑬外枠のフチに生地を入れ込みます。



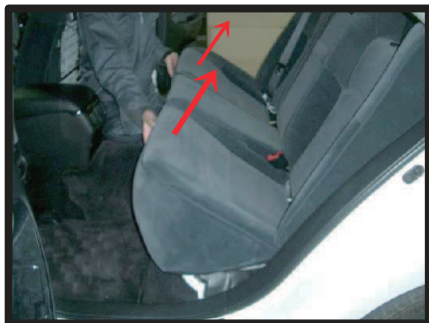
⑭カバーの表面を整え、運転席背もたれの完成です。  
助手席側も同様に取り付けます。  
助手席背もたれ側面のパワーシート用スイッチ部分は加工が必要になります。



⑮正しく取り出すと、このようになります。



## 2列目座面



- ①シートを車体から取り外します。  
図の矢印位置に金具で固定されていますので、矢印位置を上を持ち上げるようにすると、金具が外れシートを取り外す事ができます。



- ④表面を整えるようにしながら、カバーを折り返していきます。



- ②取り外したシートを広い場所に移すと、作業が行いやすくなります。



- ⑤裏返して次の作業に移ります。



- ③座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



- ⑥左右のヒモを、1列目と同様に引き絞って結びます。





⑦前後のベルトを、1列目と同様に固定します。



⑧カバーの表面を整え、2列目座面の完成です。  
背もたれのカバーを取り付けた後、  
取り外した逆の手順でシートを戻します。

## 2列目背もたれ

※背もたれ一体型シート車



① 2列目ヘッドレストを取り外し、目隠しの丸いプラスチックを取り外します。



④ 左右の肩口と中央にあるシートベルトの固定台座を、取り外します。  
+ドライバーで取り外します。



② 目隠しを外した所に、ナットがありますので取り外します。  
(左右2ヶ所)



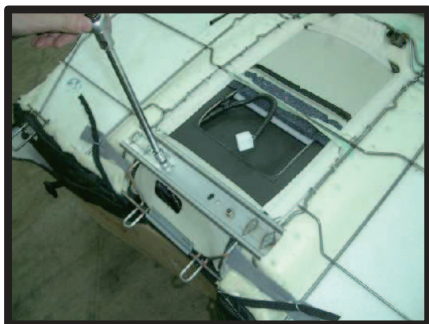
⑤ 背もたれと車体の間に、カプラーがありますので取り外します。



③ 背もたれの、座面を取り外した所にも、4本ボルトがありますので取り外します。



⑥ シートを車体から取り外します。背もたれ裏側は、金属部が多いので怪我や、車体への傷に注意して作業を行って下さい。



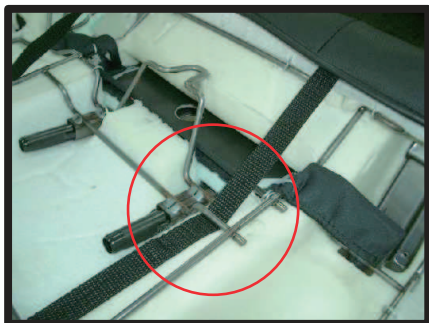
⑦裏側のナットを外して、アームレストを取り外しておきます。



⑩シートを裏返し、上下のベルトを固定します。左右のマジックテープは適当な軸に巻き付けるように固定します。



⑧カバーをシートのラインに合わせてかぶせていきます。



⑪ベルトを固定する時の注意点  
背もたれを車体に取り付ける際、ベルトが邪魔にならないように、骨組みとスポンジの間に挟み込むようにベルトを通します。



⑨ヘッドレストの台座部分を、1列目と同様に取り出し、カバー表面を整えます。

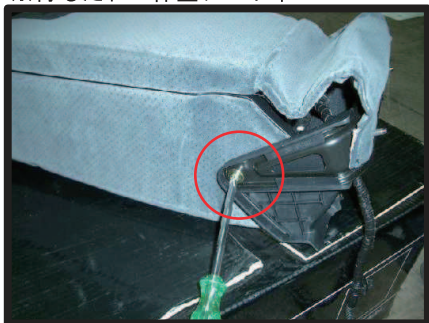


⑫カバー表面を整えながら、背面のベルトの引き具合を調節します。  
アームレスト装着後に、シートを車体に取り付けます。



## 2列目アームレスト

※背もたれ一体型シート車



- ①背もたれから取り外したアームレストを分解していきます。  
始めに、アームレストを固定していた金具を外します。  
+ドライバーを使用します。



- ④中央付近のネジを、緩めておきます。  
+ドライバーを使用します。



- ②フタとボックス部分をつなぐネジを取り外します。  
+ドライバーを使用します。



- ⑤カバーをかぶせていきます。



- ③ボックス側の説明をします。



- ⑥シートのラインに馴染ませるように整えておきます。





⑦ヘラ等を使用し、プラスチックの隙間に生地を入れ込んでいきます。



⑩収納式カップホルダー部分は、ヘラ等を使用し、生地を隙間に入れ込んでいきます。



⑧○から始まり○までの赤線の部分の生地を、隙間に入れ込んでいきます。



⑪カバーの表面を整え、ボックス側の完成です。



⑨フタとのつなぎ目部分は図のようになります。



⑫フタ側は、裏側のプラスチックカバーを取り外します。  
+ドライバーを使用します。

## 2列目アームレスト続き

※背もたれ一体型シート車



⑬プラスチックカバーを取り外した状態です。



⑯レバーを元通りの位置に取り付けます。



⑭フタの開閉レバー部分を取り外します。  
+ドライバーを使用します。



⑰表面を整えます。



⑮カバーのレバー部のネジや突起部のある場所に、あらかじめ穴を開けておきます。



⑯ボックスとの繋ぎ目周辺のカバーは金具の下側に潜り込ませます。  
(金具が自由に動く程度に潜り込ませます。)



⑲フタとボックスをつなぎ合わせて、  
分解したパーツを元通りに取り付け  
アームレストの完成です。



※車体にシートを取り外した逆の手順  
で取り付けます。  
2列目背もたれの完成です。



⑳アームレストを背もたれに取り付け  
ます。

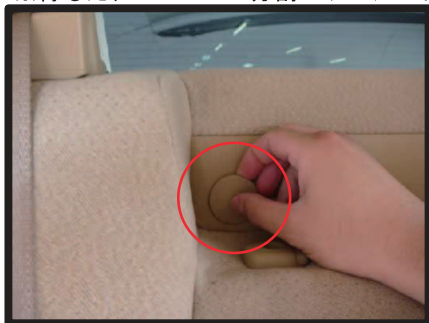


※背もたれを取り付けた後に、座面を  
取り付けます。



## 2列目背もたれ

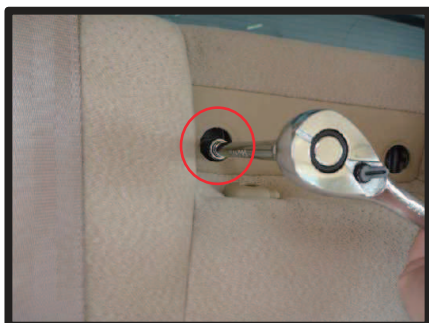
※背もたれ4：2：4分割パワーシート車



① 2列目ヘッドレストを取り外し、目隠しの丸いプラスチックを取り外します。



④ 背もたれは、図のように斜め上に持ち上げるようにすると取り外す事が出来ます。



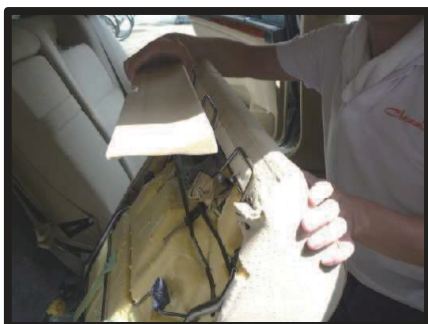
② 目隠しを外した所に、ナットがありますので取り外します。



⑤ 左右の肩口と中央にあるシートベルトの固定台座を、取り外します。  
+ドライバーで取り外します。



③ 背もたれの、座面を取り外した所にも、2本ボルトがありますので取り外します。



⑥ 背もたれ上部に付いている、プラスチックパーツを取り外します。





⑦背もたれを車外に運び出し、カバーをかぶせます。肩口までしっかり入れ込んで下さい。



⑩シートを裏返し、上下左右のベルトを固定します。



⑧カバーをシートのラインに合わせてかぶせていきます。背もたれ下側は、カバーを巻き込むようにかぶせます。



⑪ベルトを固定する時の注意点  
背もたれを車体に取り付ける際、ベルトが邪魔にならないように、骨組みとスポンジの間に挟み込むようにベルトを通します。



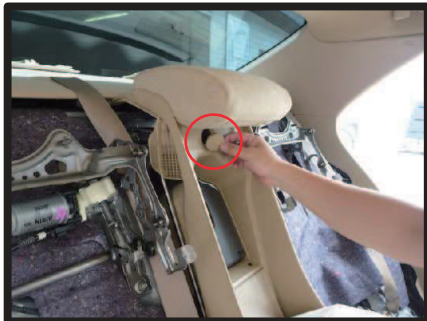
⑨ヘッドレストの台座部分を、1列目と同様に取り出し、カバー表面を整えます。



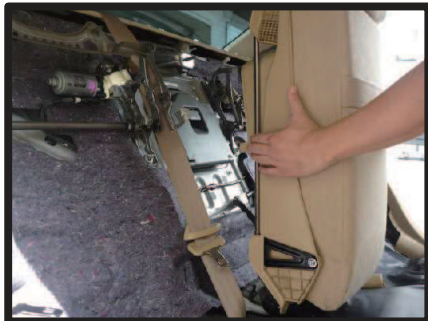
⑫カバー表面を整えながら、背面のベルトの引き具合を調節します。助手席側も同様に取り付けます。アームレスト装着後に、シートを車体に取り付けます。

## 2列目アームレスト

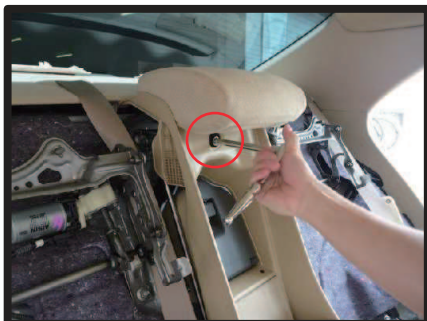
※背もたれ4：2：4分割パワーシート車



①図の位置にある、目隠しの丸いプラスチックを取り外します。



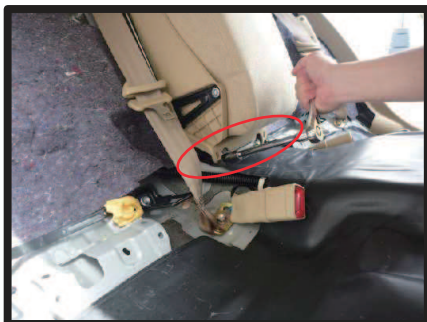
④アームレストを車体から取り外します。



②目隠しを外した所に、ナットがありますので取り外します。



⑤アームレストと車体の間に、カプラーがありますので取り外します。



③アームレスト下部にも、2本ボルトがありますので取り外します。



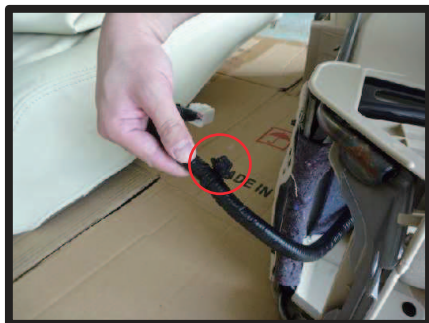
⑥取り外したアームレストを車外に運び出し、図のようにアームレストの生地を、プラスチックパーツから取り外します。



- ⑦アームレストを固定しているネジを外します。  
+ドライバーを使用します。



- ⑩フタ側の一部ののみ、形状が異なります。17ページ⑥で取り外した生地は、図のようにカバーの加工穴から取り出します。



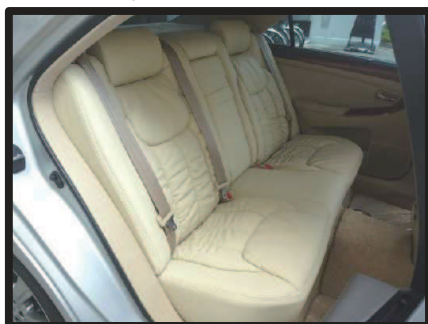
- ⑧17ページ⑤で外したカバーは、アームレストのプラスチックパーツに固定されていますので外します。



- ⑪アームレストを車体に戻す前に、2列目中央ヘッドレストにカバーをかぶせます。19ページを参考にカバーをかぶせて下さい。



- ⑨11～14ページと同様に、アームレストにカバーをかぶせます。



- ※取り外した逆の手順で、アームレスト、背もたれを取り付け、2列目背もたれの完成です。  
背もたれを戻した後に、座面を取り付けます。



# ヘッドレスト

取り付けの際には、フィット感が強い為、取り付けがきつめになっています。  
※また、力が一点に集中しすぎると、生地や縫製糸が破れる恐れがありますので、気を付けて下さい。



①ヘッドレストの前後を確認してからヘッドレストカバーをかぶせていきます。



④表面を整えた後、裏面を向けプラスチックのフックを固定します。



②左右均等に引き下げていきます。ヘッドレスト本体を圧縮しながら作業を行います。



⑤平らなフックを、生地を巻き込む形でカギ状のフックへと入れ込んでいきます。



③ある程度引き下げましたら、ヘッドレストを背もたれから取り外し、カバーを下までかぶせます。



⑥ (断面図)  
平らなプラスチック部分を写真のように内側へ折り返します。





⑦プラスチックのフックを取り付けた状態です。



⑩2列目ヘッドレストは、まず片側にカバーをかぶせます。この際、しっかりとラインに合わせてるようにします。



⑧19ページ②・③で、ヘッドレスト本体を圧縮しましたので、手のひらでたくようにしてカバーの中身をならしていきます。



⑪生地伸びを利用し、ヘッドレスト本体を圧縮しながら反対側にカバーをかぶせます。



⑨ヘッドレストをシートに取り付けて完成です。  
2列目中央ヘッドレストも一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。



⑫カバーをかぶせ、ラインを整えます。  
1列目と同様にカバーを固定し、2列目ヘッドレストの完成です。

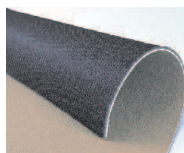


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

### クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

#### ウルトラセード

##### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

##### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



#### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

##### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



#### PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

